

4
news

女性消防隊による防災啓発劇

災害への備えが大切

9月27日、土山町のあずま自主防災会の避難訓練が行われ、甲賀市消防団女性消防隊による防災啓発劇が上演されました。

女性消防隊は、啓発チラシの配布や救命講習などさまざまな活動を行っており、セーフコミュニティの取り組みの一つとして防災啓発劇に力を入れています。

劇では、「大地震が発生し、倒れた家具の下敷きになっておばあちゃんがけがをした」という設定で、応急処置の方法や家具転倒防止用品などを紹介し、非常用持出袋を用意しておくなど、災害への備えを呼びかけました。



▲啓発劇で応急手当の方法を学ぶ参加者

5
news

あやのわいわいフェスタ27

みんなほがらか あやのにつどう

あやのわいわいフェスタ27が9月27日、水口中央公民館と水口体育館で開かれました。

地域住民が交流し親睦を深める場として綾野自治振興会が企画したもので、今年で3回目の開催です。ステージイベントやゲームコーナー、屋台や展示など、大人から子どもまで楽しめるさまざまな催しが用意され、会場は多くの人でにぎわいました。

餅つき体験ができるコーナーでは、重い杵で一生懸命餅をつく子どもたちに、周囲から大きな声援が送られました。



▲餅つきを体験する親子



▲「大溝城について」の事例報告

6
news

水口岡山城跡 城郭歴史フォーラム

水口岡山城と大溝城

水口岡山城跡城郭歴史フォーラム「水口岡山城と大溝城」移築年代をめぐって」が9月27日、碧水ホールで開催され、258人が訪れました。

大溝城（高島市）の殿主は、水口岡山城の天守へ転用された可能性が高いと推測されています。このフォーラムでは、当時の歴史を記した「西川家文書」や発掘調査などをもとに、大溝城からの移築年代を検討し、水口岡山城の歴史の変遷を考えました。

来場者はメモを取りながら、パネルの話に熱心に聞き入っていました。

1
news

ウッドジョブ体感事業

森林作業の楽しさを実感

森林・林業の職場を体験する「ウッドジョブ体感事業」が9月17日、土山中学校1年生70人を対象に森林文化ホールで行われました。

この事業は、地域の森林資源を再発見し、自然環境について考え行動できる人材を育てるため、県が初めて実施したものです。滋賀中央森林組合や土山町林業振興会などの協力のもと、のこぎり体験や焼き杉のプランターづくりに挑戦しました。

生徒らは、のこぎりや金槌の扱いに苦戦しながらも、木を切る感触や匂いなどを体で感じ、森林作業の難しさや楽しさを学びました。



▲のこぎりで丸太を切る生徒

2
news

世界にひとつ!自分だけの紅茶づくり

しがらき感動体験講座

公民館講座のひとつ、しがらき感動体験講座「世界にひとつ!自分だけの紅茶づくり」が9月19日、信楽町上朝宮で開かれ、11人が参加しました。

「朝宮茶知ろうと研究会」の方を講師に、お茶の種類や加工方法について説明を受けた後、茶畑で茶葉を摘むところから、揉み、醗酵、乾燥まで全ての工程を手作業で行い、世界にひとつだけの紅茶が出来上がりました。

参加者は、醗酵を待つ間に作った抹茶ミルクプリンと一緒に、出来たての茶葉の味と香りをゆっくりと楽しみました。



▲丁寧に茶葉を揉む参加者

3
news

歌詠みウォーク

土山宿の歴史を感じて

市内名所を歩きながら短歌の題材をみつける「歌詠みウォーク」が9月26日行われました。

地域の魅力発見の契機として短歌を募集している「あいこうかつたプロジェクト」の関連事業で、今回は東海道五十三次の四十九番目の宿場町として栄えた土山宿を散策しました。

ボランティアガイドの鶴飼さんに解説を受けながら土山宿一帯を歩き、旧土山本陣や東海道伝馬館などを見学した参加者は、土山宿の歴史に想いを馳せ、短歌を詠むためのイメージを膨らませていました。